

総合型選抜 解答例

令和8年度

小論文

〔出題意図〕

ドーピング問題はトップレベルの競技スポーツにおいて生じるため、多くの人々の目に触れる問題であると同時に、現代スポーツのあり様を示すという意味で注目に値するテーマである。高等学校学習指導要領においても、「体育理論」の中で取り扱うこととされており、高等学校保健体育教科書には4頁に渡って取り上げられているところである。

このテーマを取り上げることにより、受験者のスポーツ（時事問題も含む）への関心、および「公平性（フェアネス、フェアプレイ）」や「文化的価値」など、スポーツに関する基礎知識の有無を問いたい。さらに、この問題には、スポーツをめぐる政治や金銭の問題、身体の道具化、テクノロジーの進化等も関連しているため、B類保健体育コース受験者およびE類生涯スポーツコース受験者に対して、広く体育・スポーツに関する教養や考え方を問うこととなる。

なお、高等学校学習指導要領においては、ドーピング問題は保健分野との関連も視野に入れるべきであるとされている。高等学校での学習を活かし、薬物乱用の社会的影響について言及されることも併せて期待する。

〔採点のポイント〕

問1：

- ①ドーピングについての用語説明が適切になされているか。
- ②なぜドーピング問題が根絶されないかについて、スポーツを取り巻く現状から推察することができるか。

問2：

エンハンスドゲームズを非難する理由について、以下の点に言及しつつ自身の考えを論理立てて説明しているか。

- ・スポーツにおける「公平性（フェアプレイ）」が損なわれる
- ・スポーツにおける「努力」や「文化的価値」が貶められる
- ・薬物使用の副作用による選手自身の健康被害、とりわけ薬物依存や後遺症の危険があり、命にかかわる